

BSV
ホーム」
扉を開けて



(2025年04月)

公開書簡

★
平和とは何色か？
赤、青、橙、藍、紫か？
否、心の血潮、その色ぞ。
国土一寸染めし赤。」

親愛なるBSVersの皆様へ

平和の色は実に美しいとは思いませんか？今日、私たちの目の前にあるこの鮮やかな色彩の絵画は、過去の苛烈で痛苦に満ちた年月の賜物なのです。4月末が近づくにつれ、私たちは皆、50年前のあの神聖なる歴史の刻印 - 1975年4月30日 - 砲弾が降り止み、祖国が公式に独立と自由を取り戻した瞬間を、より身近に追体験しているかのようです。

「北から南へ、手を固く握り合おう。我らは山河を繋ぐため、大きな腕の輪を作り続けるのだ。」（故チン・コン・ソン氏の楽曲『ノーイ・ヴォン・タイ・ロン』より抜粋）統一された山河は、S字の帯となって一つに繋がりました。幾百万の心臓は一つの鼓動を刻みます。団結と誇りの旋律は、北から南へ、あらゆる道、あらゆる街角で高らかに鳴り響き、その後数十年にわたり、未来永劫へと響き渡っています。

今日の祖国は、目覚ましい変貌を遂げました。戦争の灰燼の中から雄々しく立ち上がり、ベトナム民族は力強く飛躍し、日々革新と発展を続けています。その奇跡的な転換を支えているのは、個性的で、かけがえのない一人ひとりの国民による豊かな貢献です。ベトナム国民一人ひとりには、民族の独自性を守ることを常に胸に刻みつつも、開かれた思考と行動をもって五大陸と繋がりを、多様な知識を受け入れ吸収し、ベトナム社会、ひいては全世界の繁栄を共に築き上げるべく邁進しています。

未来へと続くこの輝かしい道程において、ベルシステム24ベトナムは、個々の個性と一つひとつの声を深く尊重し、それらが共鳴することで生まれる、強靱で揺るぎない力を、我々の発展の礎として大切にしています。

目次

特化ページ1： THE VOICE..... 04

Your voice - Brand voice

特化ページ2： BSVには何がある？ 06

月中に行われるイベントやアクティビティ

特化ページ3: BSVERSとのオープンな対話..... 16

BSVの従業員と仕事や人生についてオープンに話しましょう

特化ページ4： BSVの仲間..... 24

新人、昇格者、栄誉ある方々をご覧ください...

特化ページ5： 楽しく遊ぼう！ 29

BSVersに仕事の合間にリラックスできる時間を提供し、興味深いギフトを受け取る機会を設けます



THE VOICE

Your voice - Brand voice

「ゼーンぶアプリで、サクッとお願いしたいです！」

「お任せください！もう完了しましたので、アプリを『チェック』してサービスをご利用くださいね！」

「情報はメールでお願いしたいですね。明確ですし、正式な記録としても残したいので。」

「かしこまりました！ご確認いただけますよう、たった今メールを送りいたしました！」

「こうやって電話で直接、一つ一つ教えてもらえると本当に助かりますよ。」

「はい、もうサービスをご利用いただけますよ！もし何かお困りのことがございましたら、いつでもサポートセンターにお電話ください。わたくしどもがすぐに対応いたしますので！」

「お客様が男性でも女性でも～年代が上でもZ世代でも～全然へっちゃら～BSVなら、みんなお任せあれ！」

WOW!

多様なサービス・どんなお客様にも対応

VALUES

対話の力

独創性

多様性

成功への伴走

豊かさの共創

特化ページ

BSVには何
がある？



南部営業部、「お守り：一つのチーム、一つの信念、一つの幸運」ワークショップを開催

南部営業部・研修チームが主催する、心をテーマにした一連のワークショップシリーズの第一弾として、「お守り：一つのチーム、一つの信念、一つの幸運」と題したプログラムが去る4月19日午前を開催され、BSVers（ベルシステム24ベトナム従業員）から大変好評を得ました。参加したBSVersは、日本の文化における幸運の象徴であるお守りの由来や意味を学ぶとともに、自身の手でオリジナルのお守り袋作りに挑戦。完成したお守り袋には、自分自身や同僚への前向きな願いや信念を込めていました。



グローバル事業部、「生け花ワークショップ」で部門内の結束を強化



第1回目の「生け花ワークショップ」が参加者から好評だったことを受け、グローバル事業部では、この意義深い交流活動を去る4月1日と15日に再び開催しました。本プログラムは、生け花の芸術に関する興味深い知識を提供し、草花に親しむ体験をもたらすだけでなく、プロジェクトメンバー間の連携強化にも貢献しました。

6



Woa so lovely





新しいCEOを迎えるための本社のイベント

4月24日の午後、本社で新しいCEOを正式に歓迎する小さなイベントが開催され、ここにいるBSVersが参加しました。温かい祝福の言葉と共に、面白い「ミニゲーム」が交互に行われ、皆の距離をさらに縮めることができました。



HTHプロジェクト、設立・運営開始3周年記念パーティーを開催



4月23日、HTHプロジェクト（グローバル事業部）は、設立および運営開始から3周年を記念する祝賀パーティーを開催しました。HTHチームのBSVメンバーと共に過ごした、和やかで楽しいパーティーの様子を、素敵な写真でご紹介します！



Happy birthday to HTH!



採用部、月間優秀者表彰と誕生日会でチームの士気向上と結束強化



3月における目覚ましい貢献を称え、その功績を認めるため、採用部は月間優秀者に対する表彰式を行いました。また、この機会は仲間チーム全体がアットホームな雰囲気の中、ささやかなパーティーで一堂に会し、4月生まれのメンバーへ温かい誕生祝いの言葉を贈る、結束を深める場ともなりました。



Happy birthday




採用チーム、ハノイ観光短期大学の学生と 交流会を実施




4月21日午後、ハノイ観光短期大学にて、採用チーム社と旅行管理・ガイド学科に所属する学生100名以上との交流会が開催されました。これは、今後の同社と同大学との強固な協力関係に向けた重要な布石であり、その連携の基盤を築くものです。交流会では、仲間は労働市場やカスタマーサービス分野における職業スキルに関する有益な情報を提供するだけでなく、参加型の楽しいミニゲームも企画・実施し、同社と学生との間の距離を縮めました。



採用部、「ジョブフェア2025&協力協定調印式」で次世代の若手人材と交流



去る4月、BSV採用チームは、ベトナム女性学院（VWA）で開催された「ジョブフェア2025&協力協定調印式」に参加しました。このイベントは、意欲に溢れ、将来有望な学生たちが多数集う貴重な機会となりました。当日は100名を超える学生がのフォトブースを訪れ、ミニゲームに熱心に参加したり、魅力的な求人情報について尋ねたりするだけでなく、将来のキャリアパスに関する実践的なアドバイスに真剣に耳を傾けていました。



研修部、各プロジェクトのエージェント向けに「スキルアップ」プログラムを展開

BSVでは、スタッフ、特にエージェントチームの業務スキル向上は、各プロジェクトにおいて常に重視されています。

去る3月27日、研修部長であるブイ・ティエン・ズン氏が、テックコムバンク・ハノイ支店プロジェクト所属のBSVersに対し、「おもてなし - 日本の最高峰の顧客ケア術」をテーマに直接指導を行いました。

同様に興味深いこの内容について、4月10日には南部事業部の研修チームが、テックコムバンクホーチミンプロジェクトで勤務するBSVersに対し、実践的な知識と経験を提供しました。

これに先立ち、4月3日から4日にかけては、VTVcabプロジェクトが研修部と連携し、同プロジェクトのスタッフ向けに「効果的な傾聴とフィードバックのスキル」研修を実施しました。



「スキルアップ」は、多くのプロジェクトのエージェントから関心を集め、積極的に受け入れられている研修プログラムです。 実用的な知識とスキルを提供するだけでなく、BSVersが交流し、互いに学び、より強い絆を築くための場も創出しています。



特化ページ

BSVERSとのオープンな対話





BSVでは誰もが

個性を尊重する



Nguyễn Anh Phương - (1992年生まれ) は、観光地として名高いベトナム・クアンニン省の出身。彼女は、グローバルビジネス事業部所属のHTHプロジェクトにて勤続3年となる社員です。個性的かつ自信家、考え方はオープンで、常に情熱的に物事に取り組む。インタビュー中、彼女が私たちにを見せてくれたのは、そうした魅力的な一面でした。

映画への情熱に燃えた青春

自身のキャリアについて語るアイン・フォンさんは、かつて銀行アカデミーで会計学を専攻していたと明かしてくれました。在学中、彼女は様々な課外活動にも積極的に参加し、その行動力を発揮していたそうです。しかし卒業後は、数字を扱い、ある意味「ドライ」とも言える会計分野の道を選ぶのではなく、幼い頃から情熱を抱いていた映画の世界へ。制作スタッフとして映画製作の現場に飛び込むことを決意しました。「子供の頃から、映画の世界に夢中でした。単に娯楽として映画を観るだけでなく、一つ一つの映像の裏側に何があるのか、カメラの後ろにいる人たちがどのようにして映像で物語を紡ぎ出しているのか、その過程を知りたいという強い好奇心があったんです。」そして、そのチャンスが訪れた時、彼女はかねてから切望していた「知りたい」という思いを実現させる機会を掴んだのです。



フォンさんは当時を振り返って、当時の日々は、時間やスケジュールの厳しさ、撮影隊と共に頻繁に移動しなければならないなど、非常に大変だったものの、そのおかげで意義深いことを多く学び、日々経験を積み、精神的な強さを培うことができました。



多くの困難はありましたが、本当に好きなことがあったからこそ、仕事の疲れも乗り越えられました。映画製作の現場はとても楽しかったですし、時には、意図せずスクリーンに登場する俳優になってしまうこともありました（笑）。結局のところ、どんな仕事にも価値があり、新しいことを経験し、学ぶ機会を与えてくれる。それが日々の人生経験を豊かにしてくれるのだと思います。」とアイン・フォンさんは当時を回想します。



しかし、よく言われるように、情熱と収入のバランスを取るのは難しいものです。映画業界で「燃え尽きるほど」情熱を注いだ数年間、芸術的な映画作品が生まれるプロセスを理解し、実際にそれに携わった上で、フォンさんは一区切りをつけることを決意しました。「もちろん、今でも時折、小さなプロジェクトで協力する機会がありますが、以前のように撮影スケジュールがぎっしり詰まった日々ではありません。シンプルに、自分の情熱と再び向き合いたい、そう思っています。」

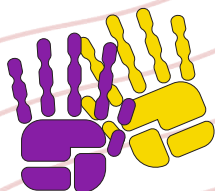


現在はより安定した仕事を選び、ここ約3年間はHTHプロジェクトが彼女の活躍の場となっています。アイン・フォンさんは、このプロジェクトの初期メンバーの一人であり、立ち上げから発展に至るまで関わり続け、現在に至ります。



ここでは、一人ひとりの個性が尊重される

アメリカのクライアントを対象とする現在のHTHプロジェクトについて、フォンさんはBSV内の他のプロジェクトと比較して多くの特長点があると語ります。最大の違いは勤務時間です。両国間には大きな時差があり、これがここで働く多くのスタッフにとって最大の困難かもしれません。しかしフォンさんにとっては、それは大きな挑戦や課題とは感じていないようです。「以前、ヨーロッパのクライアントと仕事をした経験があり、時差のある働き方や夜勤にも慣れていました。映画製作の現場にいた頃は、1日に16~18時間現場にいたことも、それが何日も続くこともありました。あの頃と比べれば、今の時間はむしろ『楽』な方かもしれませんね。」と、アイン・フォンさんは笑顔で語ってくれました。厳しい労働時間を厭うどころか、むしろそうした経験が彼女の忍耐力と自己規律の精神を培ってきたのです。フォンさんにとって困難があるとすれば、それは実家から離れて暮らしていること、そして仕事の性質上、頻繁には家族の元へ帰る時間を取れないことでしょう。この点について、フォンさんは、可能な限り都合をつけて両親と過ごす時間を作るよう努めていると語りました。





勤務時間が挑戦にならないことに加え、明るく活気のある同僚たちの存在が、フオンさんが現在までこの場所で働き続ける決め手となりました。「HTHではもう最年長のメンバーですね（笑）。2022年の採用面接の時は30歳でしたが、今はもう33歳。プロジェクトの20代前半の若いメンバーと比べると、まさに『お姉さん』的存在です。」とフオンさんは率直に語ります。しかし、実際にフオンさんに会って接してみれば、彼女がプロジェクトの「後輩」たちとも自然に関わり、良好な関係を築ける理由はすぐに理解できるでしょう。若々しい外見に加え、経験に裏打ちされた深みのある話の中に垣間見える、彼女自身の活発で情熱的な人柄が印象的だからです。若い同僚たちと日々接することで、自分自身もフレッシュな気持ちになり、若返るような気がする彼女が話します。



仕事には困難が伴うこともありますが、アイン・フオンさんがこの場所での活動を続ける理由は、個々人の個性や独自性を尊重するこの環境にあります。周囲への敬意を前提に、誰もが自身の性格や考えをオープンに表現することが奨励されており、それが多様な思考や解決策を生み出す土壌となっています。これは、創造的な問題解決を促進するだけでなく、チーム全体に前向きで活気のある雰囲気をもたらします。一人ひとりが大切にされていると感じることで、貢献意欲や成長へのモチベーションが高まります。その結果、フオンさんにとって仕事はより一層意義深いものとなっているのです。

意義があると信じるなら、勇気を持って経験しよう



「30歳になったある日、自分の人生がどこか落ち着きすぎているように感じたんです。何かを変えたい、自分自身に挑戦し、視点を変えたいと思いました。何か違うこと、本当に意義のあることをしなければという思いに駆られました。そして、国立臓器移植調整センターに臓器提供の意思登録をすることを決めました。誰かに何かを証明するためではありません。ただ、いつかこの肉体がなくなった後も、どこか他の場所で新しい命が続いてほしい、そう願っただけなんです。」フオンさんは、その決断について真摯に語ってくれました。



**TRUNG TÂM ĐIỀU PHỐI
GHÉP TẶNG QUỐC GIA**
CHO ĐI LÀ CÒN MÃI

Hotline: 0915 060 550



CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM

Độc lập - Tự do - Hạnh phúc
Independence - Freedom - Happiness

THẺ ĐĂNG KÝ HIẾN TẶNG MỠ, TẶNG
ORGAN DONOR CARD

Số /

2025

Họ và tên (Full name)

Ngày sinh (DOB): 10

Số CCCD/HC (ID/Pass)

I made it 🇻🇳

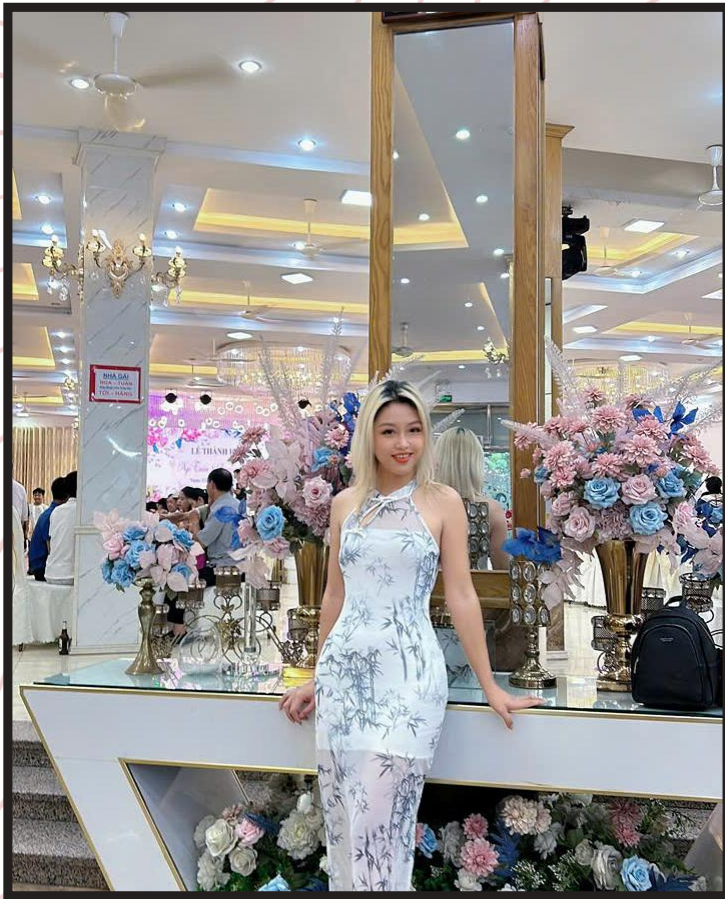
Gender): Nữ

Hà Nội, ngày 07 tháng 01 năm 2025

CHO ĐI LÀ CÒN MÃI

しかし、これが単なる個人的な決断ではないことも理解していました。この身体を与えてくれた両親がいるからこそ、彼らに伝える必要があると感じたのです。規範を重んじる厳格な家庭で育ったフオンさん。娘から初めてこの話を聞いたお母様は、非常に驚き、全く賛同できない様子だったと言います。「まだこんなに若いのに、どうしてそんなことを考えるの？」お母様のような世代の方にとって、死に触れることや、それに関わる準備を話題にすること自体が、縁起でもないことだとフオンさんは理解していました。それでも、彼女は諦めませんでした。自分が正しいと信じることをしていると確信していたからです。言い争ったり、拗ねたりすることもなく、そして何より、生みの親であるお母様の同意なしに勝手に話を進めることもしませんでした。彼女が選んだのは、焦らず、時間をかけて、亡くなった方からの臓器提供によって救われた命の話や、それがもたらす希望について、お母様に伝え続けることでした。2年という歳月を経て、完全には納得せずとも、娘の真剣な願いを理解したお母様は、ついにその思いを受け入れてくれたのです。そして今年の初め、フオンさんはついに臓器提供の意思登録手続きを完了し、その意義深い一歩について晴れやかな表情で私たちに語ってくれました。





「何かを試す上での唯一の制約は、それが違法なことである場合だけです。それ以外のことについては、若い皆さんには、好きなこと、情熱を傾けられること、意義を感じることに挑戦してみたいことなど、新しいことに思い切って挑戦してほしいと常に考えています。時には少し後悔することもあるかもしれませんが、少なくとも、挑戦し、その結果を受け止めたという事実があります。そして何より大切なのは、その経験を通して日々成長していくことだと思います。」とフオンさんは語ります。



プロジェクト、そしてBSV全体にとっても重要なピースである
アイン・フオンさん。彼女が自己成長の道のりで選択してきたこと
やその人生観には、独自の輝きがあります。フオンさんが語って
くれたように、一人ひとりの違いこそが、日々の豊かな成長の
糧となり、多様で豊かな社会を築く礎となるのです。そしてそれ
は、まさにBSVというブランドが目指している価値観そのもので
もあります。

特化ページ

BSV

仲間



NEW BSVER

『BSVのニューフェイス!』
コンコンコン! やってきましたよー!
BSVファミリーに新たに加わった、エネルギー満タンの「ルーキー」のお二人を、みんなで大・大・大歓迎! BSVでのこれからの毎日が、たくさんのインスピレーションとワクワクでいっぱいになりますように! そして、未来の目標達成、楽しみにしていますよ! ファイト!



NGUYỄN THỊ HẢI YẾN
採用担当 - 採用部

NGÔ QUANG VINH
情報システム部 部長 - 情報システム部



ON TOP



テッテレテッテーン!!! 3月、「ONTOP」に輝くのは誰だ!?

FHR DIVISION



NGUYỄN PHƯƠNG HẢO



LÊ THỊ HOÀI PHƯƠNG



TRẦN THỊ THÙY TRANG



ĐÀM PHƯƠNG NGUYỆT



NORTHERN BUSINESS DIVISION



HỒ VĂN TOÀN



NGUYỄN THU TRANG



TRỊNH THỊ TÌNH

SOUTHERN BUSINESS DIVISION



LÊ HUY



NGUYỄN KIỀU NHẬT



HUỲNH LUÂN TUẤN



ĐẶNG MINH TRÍ



LÝ THỊ HỒNG TIÊN



NGUYỄN THỊ SEN



HỒ THỊ XUÂN LÀNH



ĐỒNG NGỌC BẢO TRÂM



NGUYỄN THỊ BẠCH VI



LÊ XUÂN CHI



NGUYỄN WIN



HUỲNH LÝ QUANG SANG

GLOBAL BUSINESS DIVISION



NGUYỄN ĐỨC HUY



NGUYỄN THỊ HẰNG



NGUYỄN THỦY TIÊN



CAO MỸ LINH



ĐẶNG THỊ THÙY DUNG



TRẦN HỮU ĐỨC



TRẦN HOÀNG QUÂN



TELECOMMUNICATION DIVISION



PHẠM THỊ THOA



NGUYỄN PHƯƠNG THẢO



NGUYỄN THỊ NHUNG

楽しく遊
ぼう！

仕事に戻る前に、少しリラックス
しましょう！



有名な著書『アルケミスト』の作者である作家パウロ・コエーリョは、かつてこのような物語を語りました：

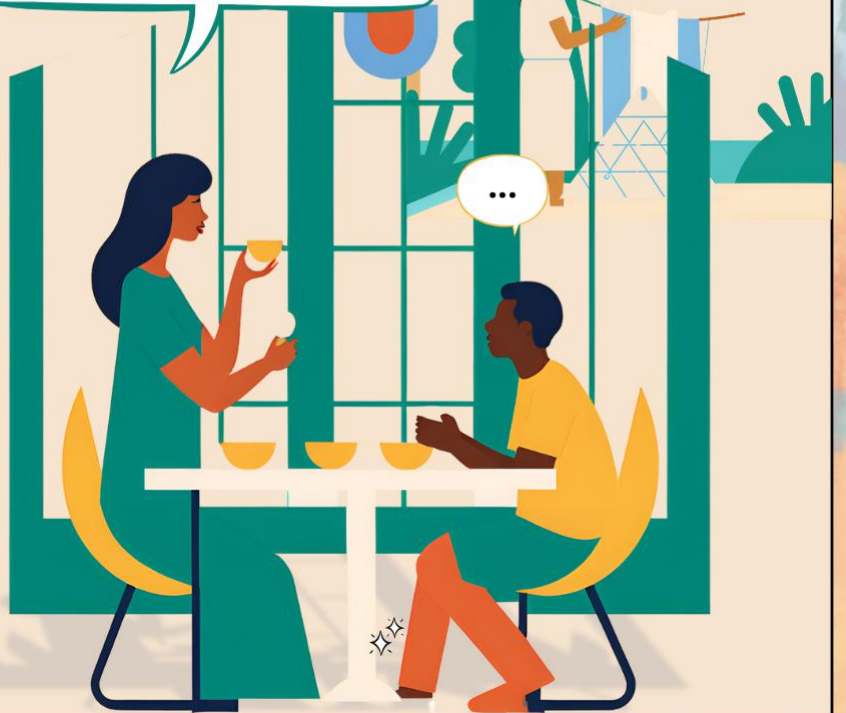
あるところに、新しい場所へ引っ越してきたばかりの若い夫婦がいました。

毎朝、窓から隣の家の女性が洗濯物を干しているのを見ると、妻の方は不満そうに呟くのでした。

「あの人の洗濯物、ちっともきれいじゃないみたい！ きっと正しい洗い方を知らないのよ。もっと良い洗剤が必要なんじゃないかしら」

それを聞いても、夫はただ黙っていました。来る日も来る日も、妻の同じような批評は続きました。

もう、あの人の洗濯物、本当に汚いわ！ 全然きれいじゃないんだから！



一体誰が教えてあげたのかしら？



それから一ヶ月ほど経ったある日のこと。妻は、隣の家の洗濯物が驚くほどきれいに、真っ白に干されているのを見て目を見張りました。彼女は夫の方を向いて言いました。

「あら、とうとう彼女もきれいに洗濯する方法を学んだのね。一体誰が教えてあげたのかしら？」

夫は微笑んで、優しく答えました。

「今朝、私が早起きして、我が家の窓をきれいに拭いたんだよ」



私たち一人ひとり、誰しも物語のあの奥さんのように、問題は他の誰かではなく自分自身にあるのかもしれないと気づかずに、早まって人を判断してしまった経験があるのではないのでしょうか。

私たちは、まるで埃や汚れで曇ったレンズを通して世の中や周りの人々を眺め、そして、そこから見えるものが美しくない、と決めつけてしまうのです。そうになってしまうと、私たちは物事を一面からしか見られなくなり、否定的な見方にとらわれ、偏見に満ちた心を持ってしまうのかもしれない。

人生という絵画は、決して平坦な一枚の紙に描かれた、二次元の絵のようなものではないはずです。

この独創&多様性に満ち、一つとして同じものがない人生を、もっと深く味わい、理解するためには、物事を様々な角度から見つめ、そして、もっと寛容な心で、すべてを受け入れてみるのが大切なのではないのでしょうか。



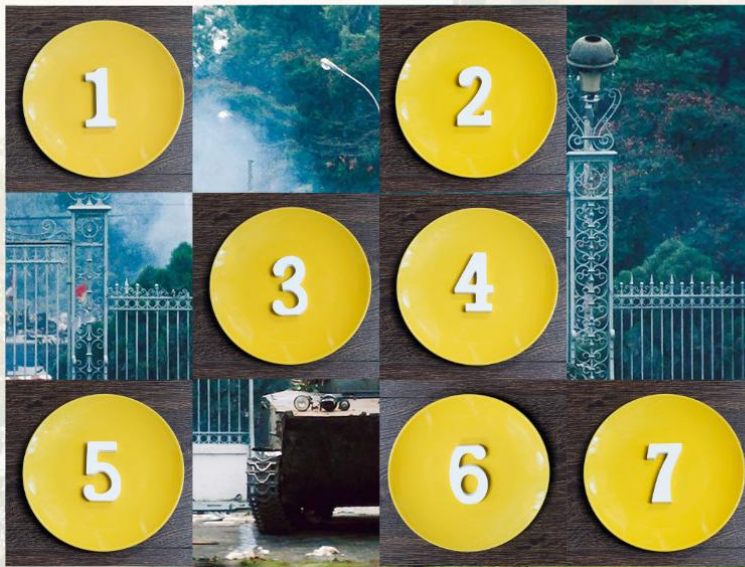


今期のクイズ

歴史のクイズ



1975年4月30日の「南部解放・国土統一」は、ベトナム国民一人ひとりにとって忘れられない重要な節目です。以下の歴史クイズを通して、50年前の輝かしい記憶へと時を遡ってみましょう！



これは一体何でしょう？

この絵は7つのピースで隠されています。以下の7つの質問に答えて、「この絵に記録されているのは、どの瞬間でしょうか？」という問いの答えを見つけ出しましょう！

- 1: 1975年、30年にも及ぶ悲惨な戦争を終結させ、民族に平和を取り戻すため、北ベトナム軍への無条件降伏を宣言することを決定した、ベトナム共和国（南ベトナム）最後の大統領は誰ですか？
- 2: 故・チン・コン・ソン氏によって作詞作曲され、1975年4月30日にサイゴンラジオ放送局で彼自身によって歌われ放送された楽曲は何ですか？
- 3: 1975年4月30日の出来事の後、サイゴン市は何という名前に変わりましたか？
- 4: ベトナム民主共和国（北ベトナム）の第二代にして最後の国家主席であり、同時にベトナム社会主義共和国の初代国家主席を務めた人物は誰ですか？
- 5: 1975年4月30日午前11時30分にベトナムの「声の放送局で放送された「勝利のニュース」を読み上げた優秀芸術家は誰ですか？
- 6: 1975年4月29日から30日にかけて、アメリカ合衆国海兵隊が、すべてのアメリカ国民およびベトナム共和国（南ベトナム）の高官・将校らをサイゴンからヘリコプターで脱出させるために実施した作戦は何と呼ばれていますか？
- 7: 1975年4月30日、統一会堂（旧・大統領官邸）の屋上に、高々と旗を掲げた兵士の名前は何か？



コードをスキャンして、早速回答！



提案箱

「Every voice matters」というメッセージを込めて、私たちは一人ひとりの声が重要であると信じています。そのため、「BSVホーム」の内容をより充実させるために、皆様のご意見をもっとお聞きしたいと考えています。役立つご意見やコーナーに適用できるアイデアをお寄せいただいた方には、感謝の気持ちとしてささやかなプレゼントを差し上げます。ご意見がありましたら、是非下のQRコードをスキャンしてくださいね！



また、「BSVホーム」へのコンテンツ提供を希望される場合は、以下のメールアドレスにご連絡ください

bsvcommunications@bell24vietnam.vn